



—東北生産性本部—

# 2014年新年労使交流会を開催

**\*本年もよろしくお願ひ致します\***

平成26年1月28日(火)15時半より、江陽グランドホテルに於いて、100名のご参加を得て、2014年新年労使交流会(新春講演会、賀詞交歓会)を開催しました。



**開会挨拶**

**会長 齋藤茂雄**

日本産業再興プランでは人材育成による労働生産性向上が必要となっており、今後は日本経済の3/4を占めるサービス産業分野でも生産性向上が求められており、微力ながら人材育成に貢献していきたい。

**新春講演「ニッポンの地域力」～里山資本主義：日本経済は安心の原理で動く～**



**藻谷浩介氏**

(株)日本総合研究所主席研究員  
地域活性化施策としては①安さでは勝負せず高品質の商品で外貨を獲得する。②稼いだお金を地域内でぐるぐる回す。③外から買うより地元産のエネルギーを活用する。と指摘。また、バブル期とは20歳程度高齢化していることから、若い人(特に女性)の就業者増対策が必要と説かれました。

新年賀詞交歓会：～ご来賓の皆さま有難うございました～



祝辞 三浦宮城県副知事



乾杯 守本東北経済産業局長

<賀詞交歓会 次第>

- ・開会挨拶  
副会長 山田清高  
(リコーインダストリー(株)取締役専務執行役員)
- ・祝辞  
宮城県副知事 三浦秀一氏
- ・乾杯  
東北経済産業局長 守本憲弘氏
- ・中締め  
副会長 田村昌徳(東北電労本部執行委員長)



開会挨拶 山田副会長



中締め 田村副会長

第一義

藻谷先生は、15-64歳の生産性労働人口が1996年を境に縮小しはじめ、高齢者の激増とあわせて避けられない現実を認識して、個人消費が旺盛な若者の所得を上げることや女性就労者増を図ることを提言されました。その上で日本経済の再生には年1%、50年間で50%の賃上げで経済は安定すると説かれました。理論は理解しつつも・・・(記 S.Y)